


# 関宿

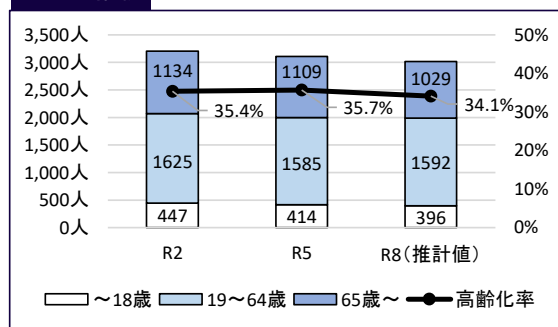
## ◆概要

	【位置図】	まち協名	関宿まちづくり協議会		
		所在地	亀山市関町泉ヶ丘1011-1	電話	0595-96-1201
		地区構成	新所 中町 木崎 小野 泉ヶ丘 富士ハイツ		
		地域特性	亀山市の西部に位置し、東海道五十三次の47番目の宿場町として栄え、今なお当時の雰囲気が残されています。江戸時代後期から明治時代にかけて建てられた町家が200棟以上も現存し、国の重要伝統的建造物群保存地区や日本の道百選に選定されています。活動組織は部制と合わせて4地区制(東地区・中地区・西地区・北地区)を取り入れています。		
面積	426.3ha	ホームページ	<a href="https://sites.google.com/view/sekijuku-machikyo">https://sites.google.com/view/sekijuku-machikyo</a>		
めざす姿	心ゆたかな街、皆げんきな街、きずな深き街、暮らし住みよい街				
地域の誇り	重要伝統的建造物群保存地区に指定され、関の山車を持ち、多くの歴史遺産がある				

## ◆人口

	令和2年	令和5年	令和8年 (推計値)	増減	
総人口	3,206人	3,108人	3,017人	-98人	
人口密度	7.52人/ha	7.29人/ha	7.08人/ha	-0.23人/ha	
65歳以上	人口	1,134人	1,109人	1,029人	-25人
	比率	35.4%	35.7%	34.1%	0.3%
18歳以下	人口	447人	414人	396人	-33人
	比率	13.9%	13.3%	13.1%	-0.6%
外国籍	人口	76人	86人	10人	
	比率	2.4%	2.8%		0.4%

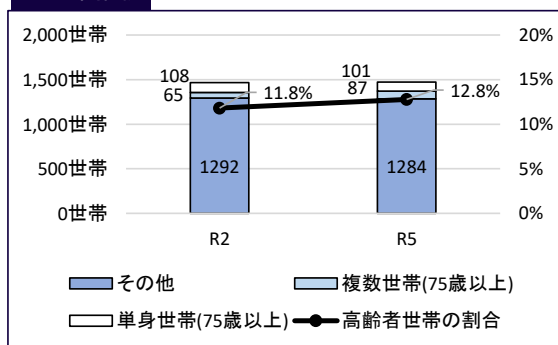
## ◆人口推移



## ◆世帯

	令和2年	令和5年	増減
総世帯	1,465世帯	1,472世帯	7世帯
単身世帯(75歳以上)	108世帯	101世帯	-7世帯
複数世帯(75歳以上)	65世帯	87世帯	22世帯
高齢者世帯割合	11.8%	12.8%	1.0%

## ◆世帯推移



## ◆介護保険認定者

	令和2年	令和5年	増減
要支援1.2	63人	79人	16人
要介護1~5	132人	162人	30人
合計	195人	241人	46人

## ◆地域組織

	令和2年	令和5年	増減
自治会	29	28	-1
老人クラブ	4	3	-1
子ども会	(1)	(1)	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	9
主任児童委員	1
福祉委員	35
介護保険施設・事業所	2
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	1
児童福祉施設・事業所	1
病院・一般診療所	1
歯科診療所	2
薬局	0
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	1
放課後児童クラブ	1
放課後子ども教室	1
子育て支援センター	1
学校(小・中・高)	2
乗り合いタクシー停留所	50

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

◆サロン活動

	令和2年	令和5年	増減
ふれあい・いきいきサロン	14	11	-3
子育てサロン	1	0	-1
コミュニティサロン	1	1	0

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 民生委員・児童委員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】

歌声ひろば、なかよし広場・ニコニコ体操、ふれあいサロン、男のやさしい料理教室を各地区で行っています。

【訪問活動】

高齢者見守り訪問活動を年2回行っています。

【その他】

ゴキブリ団子を高齢者をはじめ、希望する世帯に配布しています。



手作り作品展



歩こう会

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・敬老会
- ・手づくり作品展
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・歩こう会
- ・防災啓発・訓練
- ・害虫駆除(ゴキブリ団子作り)
- ・高齢者見守り活動
- ・孫と遊ぼう会

◆生活支援コーディネーターからのコメント

関宿の人口は市内で5番目に多い3,108人で、そのうち35.7%にあたる1,109人が65歳以上です。地域内1,472世帯のうち、12.8%にあたる188世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の2.8%にあたる86人が外国籍です。

地域の特色として、東海道筋や国道1号線沿いには飲食店や銀行、個人商店、スーパーが立地し、比較的生活するのに便利な地域といえます。地域活動として、令和5年度から住民の防災・防犯意識の向上を図るため、地区防災計画を作成し、関中学校と合同の防災訓練や高齢者のための特殊詐欺防止教室を開催しています。また、令和5年度からスマホ教室を開催した地区もあり、高齢者も情報機器を有効的に活用し、地域で暮らしやすい環境を整えています。今後も東・中・西・北の4地区の特性を大切にしながら、まちづくり協議会が中心となり歴史的な街並みや住民同士の繋がりを活かした取り組みを展開されることが期待されます。